熊谷名物 雪くま

もう食べましたか？

6/27(木)、熊谷市役所で雪くまの無料試食会が行われました。雪くまは各店舗でオリジナルシロップを使った、熊谷のご当地かき氷です。お店ごとに特徴のある雪くまをぜひ、ご賞味ください。

問 商業観光課 ☎内線312







目指せ！全店制覇 雪くまスタンプラリー

熊谷市公式LINEアプリ「クマぶら」内で、雪くまスタンプラリーを実施中です。期間は9/1(日)まで。スタンプを集めて景品を当てよう！





クマぶら

市報クイズ

【プレゼント】
「PORK LABO」から「粗挽き 大粒肉しゅうまい 4個入り」を60人にご提供します！

今月の問題 ○○に当てはまる言葉をお書きください。

熊谷の夏の風物詩、熊谷花火大会は、打ち上げ総数約○○○を誇る県内有数の花火大会です。

応募方法

①今月号の市報の感想 ②市報で取り上げてほしい内容 ③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥電話番号 ⑦今月の問題の答え を必ず明記し、ハガキまたはフォームからご応募ください。【締切】8月31日(土)

送付先 〒360-8601
熊谷市宮町 2-47-1 広報広聴課
※ 当選者の発表は、プレゼント引換券の発送を持ってかえさせていただきます。

6月号の正解

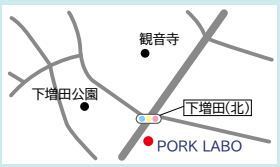
高度

◆応募総数 98通中 正解95通

PORK LABO




プレゼント例



お店の紹介 (インスタグラム @porklabo)

県北食肉センター直送の精肉店。革新的な冷凍技術により、豚肉は高鮮度で良質です！地元ならではのコラボ商品、農家直送の野菜も販売中♪

住　　所 熊谷市下増田991-1
営業時間 9:00～18:00
定 休 日 月曜日 ☎048-532-3232

まちフォト





6/16 チームの絆を深めました。田んぼでタグラグビー

田植え前の水田にフィールドを設け、タグラグビーが開催されました。参加者は泥だらけになりながら必死にボールを追いかけ汗を流しました。また、試合後にはJAくまがやの協力により、田植え準備となるドローンでの農薬散布のデモ、無人トラクターでの代掻きの実演が行われました。





6/30 胎内くぐりが開催されました！

毎年6月30日に行われる胎内くぐり。髙城神社では、今年も国道17号沿いの一の鳥居に高さ4メートルもある大きな茅の輪が作られ、多くの方がくぐり、無病息災を願いました。今年は日曜日ということもあり、日中から老若男女問わず、たくさんの方が訪れ、より一層のにぎわいを見せました。





7/6 第43回熊谷市青少年健全育成大会が開催されました

文化センター文化会館で熊谷市青少年健全育成大会が開催されました。市内小中学生から募集した標語の特選表彰や健全育成に関する講演などが行われました。

Instagram

SNSで熊谷市の魅力を発信してみませんか？

#kumacitygram

熊谷市では、Instagramで「#kumacitygram」を付けて、熊谷市での暮らしや風景など、“あなたの好きな熊谷”の写真投稿を募集しています。
皆さんも@kumagaya_city(熊谷市公式)をフォローして、ぜひご投稿ください。
集まった投稿の中から、不定期で素敵な写真を紹介します。



@ortensia10
お友達と紫陽花散歩♫



@ishiwara_sekine
雪くまスタンプラリースタート!



@akihironakazato
田んぼアートにしなくても
アートはありますね。



広告

受講料無料
<厚生労働省委託>高齢者活躍人材確保育成事業
シルバー人材センターで働くための技能講習
受講者募集!



講習	開催場所	日程	申込締切	内容
家事援助サービス業務	熊谷市男女共同参画推進センターハートピア	10/23(水) 10/24(木)	10/2(水)	掃除や洗濯、買物や病院への付き添いなど、暮らしをお手伝いする業務について学びます。
放課後児童クラブ補助業務		12/19(木) 12/20(金)	11/28(木)	児童との関わり方や安全対策など、施設職員を補助する業務について学びます。

時間 10:00~15:30(予定)
対象
シルバー人材センターへ入会を希望する県内在住、60歳以上及び各講習とも全2日間参加可能な方
※既にシルバー人材センター会員の方が受講を希望する場合は、お問い合わせください。

埼玉県シルバー人材センター連合 公益財団法人いきいき埼玉
〒362-0812 伊奈町内宿台6-26 埼玉県県民活動総合センター内
TEL 048-728-7841 FAX 048-728-2130 土・日・祝を除く8:30~17:00

申込方法 HP、または「受講申込書」でお申し込みください。(郵送・FAX)
※申込締切日必着 ※定員(各20名)を超える場合は選考
※受講申込書は、ハローワーク、市町村の窓口、シルバー人材センター、図書館、公民館などにあります。

KUMAGAYA
発行日　令和6年8月1日
発行　熊谷市広報広聴課
TEL 048-524-1156（直通）
土曜開庁の情報は下記コードからご確認ください。

KUMAGAYA DREAM FOLLOWERS

情熱世代

夢追い人

YAMAGUCHI EINOSUKE RUGBY



山口（やまぐち） 英之介（えいのすけ） さん

東洋大学1年生（熊谷高校出身）
第49期高校日本代表1次候補に選出

応援を胸に、ラグビー界の頂きへ

ラグビーとの出会い

ラグビーを始めたのは、高校に入学してからです。中学校でバスケットボール部だったこともあり、初めはバスケットボールを続けるつもりでしたが、祖父やいとこがラグビー経験者だったため、もともと興味があったラグビーも視野に入れていました。

プレー人数が5人のバスケットボールに比べて、15人のラグビーの方がメンバー入りできる確率が高いことがラグビーを選んだきっかけです（笑）。また、ラグビー部顧問の横田先生が「待ってるよ」と声を掛けてくださったことが、最終的な決め手となりました。

自らの成長の理由

高校2年生の7月、日本ラグビーフットボール協会が主催する「TID（ティーアイディー）ユースキャンプ（高校生世代の人材発掘と育成のための取組）」へ呼んでいただきました。全国から体の大きな選手や、足の速い選手が集まる参加人数約50人規模の合宿です。入学当初から、身長185㎝、体重70kgと体が大きかったこともあり招集していただけたのだと思います。

自分よりも体の大きな選手や、足の速い選手に刺激を受け、この合宿がきっかけで、練習やトレーニングに今まで以上に力を入れるようになりました。また、この合宿でハードな練習を乗り越えた経験も、その後の自分の成長へと繋がっていると思います。

人生の岐路

高校2年生の冬頃から、進路について考えるようになりました。大学を選択する際に、ラグビーを続けるか、ラグビーを辞めて学業に専念するか、迷う日々が続きました。

そんな中、いつも近くでサポートしてくれた家族が相談に乗ってくれたり、横田先生の「得意なことで大学に進むのもいいんじゃないか」という言葉に背中を押され、進路を決断することができました。

いざ入学してみると、東洋大学でのラグビーは、高校時代と比べフィジカルの強さはもちろんのこと、プレー中のボール回しや判断のスピードもレベルが高く、必死に食らいつく毎日です。この中で自分の強みである、タックルを活（い）かして、ラグビーで行けるところまで行きたいと思っています。

大きな目標に向かって

今後は、東洋大学ラグビー部として、全国大学選手権で優勝を果たすことを目標に掲げています。

家族や高校時代にお世話になったスタッフの方々、そして共に戦ったチームメイトなどたくさんの人に支えられてここまで成長することができました。これからはそういった人たちにプレーで恩返しができるよう、頑張っていきたいと思います。



©&rugby/Yuriko Harada